

(2) 主要魚介類の入荷と価格の見通し

仙 台 市 中 央 卸 売 市 場

(電話) 2 3 2－8 1 2 1

【概要】

生本まぐろは前年並み～高値で推移、めばちまぐろは輸入品減少のため高値で推移する見込みです。冷凍本まぐろ・冷凍めばちまぐろは在庫数量の減少や原料価格の高騰により高値となる見込みです。はまちは4～9月の高水温による生産量の減少のため高値で推移するでしょう。なめたがれい・たらは水揚げ量が増加傾向で、安定した入荷が見込まれます。価格については、なめたがれいは12月最終週直前までは高値、たらは前年並み～高値で推移する見込みです。かに類は入荷量減少のため前年より高値、えび類は水揚げ量の減少や円安の影響で高値となっています。筋子はアメリカ産の生産量増加も、価格は高止まりしています。数の子は国産原料への移行が進み、需要は増加、価格は前年並み～高値で推移する見込みです。かまぼこ類は入荷順調も原料価格等の高騰により、高値推移となります。

【品目別】

まぐろ	生本まぐろは北海道・青森中心の入荷となり、価格は前年並み～高値で推移する見込みです。生めばちまぐろは宮城・千葉県産が中心で、輸入品は円安の影響で入荷量は減少し、価格は高値で推移する見込みです。養殖本まぐろの価格は前年並みとなるでしょう。冷凍本まぐろ・冷凍めばちまぐろは入荷量の減少や原料価格の高騰により前年より高値で推移する見込みです。
はまち	九州・四国の各産地からの入荷が中心です。4～9月の高水温の影響で成長が悪く、入荷量は減少し、価格も前年より高値となるでしょう。
養殖かき	広島・兵庫県産は高水温・高塩分濃度等の理由で大量の斃死が発生、価格は高騰し前年より高値で推移する見込みです。三陸産の需要が全国的に高まっており、浜値は高値安定、供給量は不足している状況です。
たこ	北海道産水たこは前年の水揚げに対して減少傾向で価格も高値で推移しています。国産真だこは全国供給できる水揚げ量には至っておらず、高値安定で推移しています。
なめたがれい	北海道産主体の入荷が続き、12月後半からは入荷量も増加する見込みです。前年は水揚げが遅れたため12月最終週直前まで高値で推移しましたが、今年も道南産の水揚げが遅れており、前年と同様の展開となる可能性があります。
たら	北海道及び東北日本海側と三陸中心の水揚げとなる見込みです。価格は前年並み～高値で推移しています。年末に向け漁獲量は徐々に増加してきています。
かに・えび	アルゼンチン産赤えびは水揚げ量が少なく、高値で推移しています。ブラックタイガー等は円安や生産量減少の影響により高値となっています。ずわいがに・たらばがにには入荷が少なく、前年より高値で推移しています。毛がにもオホーツク海漁獲枠が前年より減少したことに伴い、高値で推移しています。
筋子	アメリカ産紅さけ塩筋子は大幅に増産となったものの、価格は前年同様、高値横ばいで推移しています。味付筋子、いくら用の冷凍筋子は原料高により、過去最高価格で推移する見込みです。
数の子	国産原料は、良品といわれるカナダ産と比べても品質は劣らず、価格が安いことから需要は増加する見込みです。カナダ大西洋産は入荷量が減少し、価格は前年並み～高値で推移する予想です。
練り製品	板かまぼこ、なると等のかまぼこ類は順調な入荷が見込まれますが、原料価格や包装資材費、物流費の高騰により価格は前年より高値となる予想です。